



さがみ

- ◇ いのちをつなぎ
 - ◇ ふるさとを大切に思い
 - ◇ 未来に向かって学び合う子ども
- 発行:山辺町立相模小学校
校長 鈴木 義彦
□発行日:令和5年1月26日

後期後半の学習がはじまりました

- ◆今年の干支は「癸卯（みずのと・う）」。これまでの努力が花開き、実り始めることといった縁起のよさを表しているそうです。
- ◆1月10日、後期後半の開始にあたり、今年は「ことば」を豊かにしようと話をしました。例えば、うさぎについては、「うさぎ」「ウサギ」「兎」「卯」といろいろな表現がありますが、意味やニュアンスが異なります。そこで、校長室前の掲示板に、「雪にまつわる言葉」127種類を掲示してみました。「淡雪」「小米雪」「雪肌」……。情報化社会では、どうしても単純でストレートな表現が優先されます。だからこそ、「ことば」が醸し出す味わいを感覚的に捉えながら言語感覚を養って欲しいと思います。「ことば」を豊かにすることは、人や社会との関わり自他の存在について理解を深める、コミュニケーションの基礎となるでしょう。
- ◆アフターコロナ、ビヨンドコロナといわれて久しいですが、今年こそマスクを外し、笑顔あふれる学校生活が送れることを祈っています。改めまして、本年もよろしくお願いいたします。

書初め会で学び合う

- ◆1月11日（水）に、恒例の書初め会を行いました。今年も縦割り班ごと1、2年生は硬筆に、3年生以上は毛筆に挑戦しました。早く書き終わった1、2年生が、上級生の運筆の様子を熱心に見ていたのが印象的でした。作品は、2月10日（金）の学習参観日まで掲示していますので、子どもたちの力作をご覧ください。



6学年、3・4学年スキー教室

◆1月20日（金）に、6学年スキー教室を行いました。小学校最後のスキー教室であるとともに、相模小にとって高学年最後のスキー教室となりました。天候に恵まれ、たくさんのゲレンデを回りスキー技術を磨くことができました。昼食も班ごと様々な場所で好きなものを食べたようです。卒業後も機会があれば、雪山に親しんでもらえればと思います。



◆1月25日（水）に、3・4学年スキー教室を行いました。大寒波によりコンディションは決して良くなかったのですが、けがや体調不良なく、安全に学習することができました。特に、今回お世話になった蔵王ハイムスキースクールの皆様には、様々な対応をしていただきました。まず、本校貸し切りにしていただきました。インストラクターの方々には、刻々と変わる天気と子どもの体調を考慮し、適宜室内で暖をとっていただきました。その際、手袋や帽子を暖房で温めていただいたり、凍ったゴーグルに曇り止めを塗っていただいたりしました。昼食は、急遽、3、4年入れ替えではなく同時に取ることになり、休憩も十分取ることができました。また、閉校式は暖かい室内で行わせていただきました。さらに、バスへのスキー積み込みとお見送りまでしていただきました。たくさんの支えがあってスキー教室は成り立っていることを改めて実感しました。厳しい環境でしたが、子どもたちは楽しかった、もっと滑りたいと話してくれました。3・4学年は、2月3日（金）に、2回目のスキー教室を行います。



おめでとうございます

○第41回CGC全国児童画コンクール（おーばんホールディングス）

- ・全国優秀賞 4年 樋口愛音さん
- ・全国入選 1年 西澤楠生さん 4年 中尾静来さん 5年 奥山咲来さん
5年 渡邊友偉さん 6年 鈴木柚子さん
- ・店長賞 5年 佐藤 柚さん 5年 渡邊斗哉さん

ありがとうございました

◆校医の伊東信先生より、子どもたちのために10万円をご寄付いただきました。図書購入費として大切に使用させていただきます。伊東先生からはこれまで何度もご寄付いただいております。本当にありがとうございます。